

食＊はぐくみ通信 特別号⑨

令和3年2月

1月の給食週間中、給食や食にちなんだ本を図書室の入口に展示していました。その中から子どもたちがよく見ていた本、おすすめの本を紹介します。

● 給食週間にちなんだ図書を展示しています



来週は給食週間です。入口に展示しています。展示されている本以外もあるので、探して読んでみてください。



【やさいのおなか】 作・絵：きうち かつ、 出版社：福音館書店



幼児向け絵本ですが、低学年
の子どもたちも大好きです。

野菜のモノクロの断面図（おな
か）のイラストがとても印象的で
す。

断面図は、食育の授業の緑黄
色野菜とその他の野菜の見分け
方でも使っています。

【給食番長】 作：よしなが こうたく、 出版社：好学社



給食を残してばかりの1年生
が、ひよんなことから自分たちで給
食を作ることに…。

子どもたちが給食を作る苦労や
そこに込められた気持ちに気づくま
での様子を描いた絵本です。迫
力満点の絵と文で、図書室でも
人気の1冊です。

同じシリーズで、おそうじ隊長、
あいさつ団長などもあります。

【いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日】

げんあん さかもと よし き さく うちだ み ち こ
原案：坂本 義喜、 作：内田 美智子、

え うお と しゅつぱんしゃ こうだんしゃ
絵：魚戸おさむとゆかいななかまたち、 出版社：講談社



スライスされ、パックに入った肉しか目にしない私たちにとって、そこから命を感じるのは容易ではありません。

これは、食肉センターに勤めて実際に命を解くことを仕事にされている坂本さんのおはなしです。

保護者の方も一緒に読んでいただきたい絵本です。

【菌の絵本（こうじ菌）】

かんしゅう きたがきこう し え はやかわじゅん こ しゅつぱんしゃ のうぶんきょう
監修：北垣浩志、絵：早川純子、出版社：農文協



和食に欠かせない清酒や甘酒、みそ、醤油、みりん、酢などはすべてこうじ菌を利用しています。

日本の国菌であるこうじ菌について、種類や歴史から甘酒の作り方まで書かれており、和食のよさを再確認できる本です。

【カレーライスを一から作る：関野吉晴ゼミ】

著者：前田亜紀、 出版社：ポプラ社



文字通り、米も野菜も、肉も、
器もスプーンも…全部、一から作
った大学ゼミを追ったドキュメンタリ
ー映画の書籍化です。

小学生でも読めるように字も大
きく、ルビもついています。

読みながら、いろんなことに気づ
かされ、読み終わったらカレーライ
スが食べたくなるような本です。

おまけ！【おかわりへの道】

作：山本悦子、 絵：下平け一すけ、 出版社：PHP研究所



昨年度末、「この本を読んだら、
給食を全部食べられるようになっ
た！」と言われて、びっくりして手に
取った本です。

本の持つ力を実感した一冊で
もあります。図書室にはないので
すが、おまけとして紹介します。